

# パネル発表「生活と教育の中にとけ込んだ飼育活動」

日名育子



## 1 はじめに

本校は、「不登校」など既存の学校になじみにくい児童生徒を受け入れ、義務教育を保障している全寮制の学校です。

子どもたちの生きる意欲、学ぶ意欲を回復するために、本物の自然の中で動植物にふれる体験学習を大切にしています。

本校の最大の特色、全寮制による24時間の教育活動を通して動物の飼育や作物の栽培などが生活と教育の中にとけ込んでいます。開校以来、牛、ヒツジ、犬、ポニー、ウサギ、ニワトリなどの飼育活動に取り組んできました。

## 2 動物飼育の苦い経験

平成21年、岡山西ライオンズクラブから子どもたちの心を癒したいとの思いでポニーを寄贈していただきました。子どもたちは、「マーズ」と名付けて、餌や

り、散歩、小屋の掃除、ブラッシング等、一生懸命世話を続けました。

しかし、マーズはだんだん気性が荒くなり、散歩中に引っ張られて転んだり、餌をやるにもこわごわ近づかなくてはならなかつたりなどの問題が出てきました。どうしてなのかなと調べたり、話を聞いたりする中で、馬はもともと群れで生活をしていること、散歩が足りていないことなどが分かってきました。「マーズにストレスがたまってきたんだろうね。」「これ以上、のびのび小学校で飼うのはかわいそうだね。」というこ09-03 ちょうど交流があった牧場へ預かってもらうことになりました。

その後、乗馬体験をしに何度か牧場へ出かけましたが、他のポニーと寄り添って仲よくしている姿、一緒に疾走している姿を見て子どもたちはホッとしていました。すっかりおだやかになった「マーズ」は、人を乗せることができるようになったと聞いています。

## 3 現在の飼育活動

現在、飼育している動物は、犬の「クロちゃん」とヤギの「イーター」です。

「クロちゃん」は6年前、全校議会（児童・生徒総会）で、話し合っただけ飼うことになりました。

「イーター」は、ポニーの「マーズ」がいなくなって、総合的な学習の時間に『自分たちで世話ができる動物を飼おう』ということで、調べ学習を重ねた末、み



仲間と一緒に

んなで決めた動物です。

<一日の飼育活動>

6:40 「クロ」の散歩とウンチの世話と餌やり

13:15 「イーター」の餌やりと子屋の掃除とブラッシング

18:30 「クロ」の散歩



24時間ともに生活している家族とも言えるような「クロちゃん」と「イーター」です。今では飼育活動に参加することができる児童がほとんどです。

本校では、辛いことがあったり、以前のことを思い出して気分が沈んだりした時に、「クロちゃん」の傍でじっと心を落ち着かせていたり、「イーター」をひたすら眺めていたり、ふれあっていたりする姿をたくさん見かけます。

ここに、本校が飼育活動を続けている意義が大きくあると感じています。

#### 4 岡山県獣医師会との連携

本年度、岡山県獣医師会による学校飼育動物サポート事業対象校として認定されました。早速、「クロちゃん」が時たま機嫌が悪くなって、吠えたりかんだりということで困っていたので、吉備中央

町内の河内先生に来ていただきお話を聞きました。「犬の体の秘密」のお話はとても興味深く、子どもたちは感心して聞き入りました。また、犬は人間に初めて飼育された動物だということ、人間と付き合ううちに顔の表情や感情が豊かになっていったのだらうということを知り、こわがりの「クロちゃん」の気持ちになって接することが大切なんだと気がつきました。

#### 5 まとめ

飼育することを通して、命の尊さを実感したり、やさしい心を醸成したり、責任をもって生き物の世話をしたりすることを経験しているのは勿論ですが、「不登校」を経験してきた子どもたちにとっては、動物の飼育は、何よりも心の癒しになっていると感じています。今後とも、岡山県獣医師会とも連携しながら、安全で適切な飼育活動をすすめていきたいと思えます。



「クロちゃん」の話

(学校法人おかやま希望学園

吉備高原のびのび小学校)